



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成18年 **9** 月号
No.184

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

安倍、谷垣陣営に分かれる 京都選出国會議員

地元京都府、負けられない谷垣氏

9月8日に告示された自民党総裁選挙は、予想された通り、麻生太郎外務大臣、安倍晋三内閣官房長官、谷垣禎一財務大臣が各々20人の国会議員の推薦書を提出、立候補の手續きを済ませた。今回の選挙人の数は、国会議員票(衆議院議員292人、参議院議員111人)の403票。そして都道府県に割り当てられた票数は300票で、合計703票である。703票の過半数を獲得した候補者が当選者となる。最近の選挙は、党員、党友の票をいかに多く獲得したかが、勝敗の分かれ目となる。党員、党友の中での人気が高い人、つまり国民的人気の高い人が議員投票にも大きな影響を与え、最終的に勝利を収めることになる。地元京都府の持ち票は、6票と決定した。安倍氏の人気が断然高いと言えども、谷垣氏は地元京都府においては、メンツにかけても安倍氏に負けられない。もし、京都府での得票が少なければ、今後の谷垣氏の政治活動に大きな障害となる。地元福知山を中心に、谷垣陣営では相当力強い運動を展開する必要がある。地元選出の国会議員で、谷垣支援に参加しているのは、清水鴻一郎、井澤京子両衆議院議員、二ノ湯智参議院議員の3人である。安倍支援に参加している国会議員は4人で、京都府においては、谷垣、安倍氏の勢力は伯仲となった。



立候補のご挨拶



厳しい残暑が続いておりますが如何お過ごしでしょうか。

平素、二之湯先生の政治活動にご尽力賜わりますと共に、私にも暖かいご支援を賜っておりますこと、心から感謝申し上げます。

さて私、昭和五十八年に衆議院議員初当選以来今日まで、多くの皆様のご支援により、九期二十三年を迎えることができました。この間、国会・政府・党の各分野において多くの重要な舞台に立たせていただき、私なりに全力を尽くす中、多くの経験をし、学ばせていただきました。


今、国の内外共に大きな変曲点を迎えており、重要な政治の決断が求められる折、私の二十三年間の集積を「人と社会の絆による信頼の国家」構築に捧げたく、自民党総裁選挙に立候補いたしました。

もとより高いハードルであることは充分承知しておりますが、皆様のお力にすがり、全力で取り組んでまいりたいと存じております。どうか今一層のお力添えを賜わりますようお願い申し上げます。

併せて二之湯先生の更なるご活躍と皆様のご健勝をお祈りしご挨拶いたします。

谷垣 禎一

新しい時代を担う候補者



日本の底力
活力と安心への挑戦

麻生太郎



『活力と信頼の国家』を創る
『絆』の社会を目指して

谷垣禎一 政権構想



美しい国、日本。

いま、
新たな国づくりのとき。

安倍晋三
Abe Shinzo

京都府連の票の行方 前回、各候補に票が分散

どうなる今回の票？

3年前の自民党総裁選挙は、小泉純一郎、藤井孝男、亀井静香、高村正彦の4氏が立候補した。総裁をめぐる、平成研では小泉純一郎氏を推す勢力と藤井孝男氏を支援する野中広務氏とが激しい権力闘争を繰り広げた。この総裁選挙告示翌日の9月9日夕方、野中広務氏は突然政界引退を表明、地元京都政界に激震が走ったことは記憶に新しい。当時自民党府連の

幹事長であった二ノ湯参議院議員は、京都での党員、党友票がうまく票割りされて、応援する地元国会議員の面目を保つことが出来ればと頭を悩ませた。別紙の通り、有力候補に各々票が分散し、京都府連としては、大変良い結果となった。

今回、京都府連の選挙人数は、一七、三二人である。前回のよう

谷垣候補を激励する二ノ湯議員



四条河原町で支持を訴える
谷垣候補と二ノ湯議員

9月8日告示された自民党総裁選挙。京都出身の谷垣禎一衆議院議員も立候補の届出を済ませた。一般的に見て、谷垣氏の劣勢は否定できない。しかし、なんとしても京都では安倍氏と互角の戦いをして、存在感を示す必要がある。二ノ湯議員は谷垣氏を支援する議員として、9月10日地元入りした谷垣候補と市内各所で街頭演説を行った。

にうまく票が分かれるか。人気通りに安倍氏が圧倒的な強さを見せるのか。各候補を応援する国会議員も大変気掛りである。

なお、党員投票の方法は、往復ハガキによる郵便投票で、9月19日(火)までに中京郵便局に必着すること。開票は9月20日(水)午前11時30分から京都自由民主党会館で行われる。

平成15年の総裁選挙・京都府の投票結果

候補者名	得票数	党員算定票
小泉純一郎	8,641票	3票
藤井孝男	4,333票	2票
亀井静香	2,345票	1票
高村正彦	848票	0票
合計	16,167票	6票

参院平成研、自主投票

自民党総裁選挙の告示を前に、さる8月31日、東京赤坂のキャピトル東急で、参院平成研究会(陣内孝雄会長の総会が開かれた。当日の大きなテーマは自民党総裁選挙に対して、平成研究会の方針を決めることであった。昨年の郵政民営化関連法案のように、議員個人を悩ませる深刻な問題ではないが、各々の議員は色々な方面から働きかけがあり、安倍、谷垣、麻生氏の誰を支持するのか、態度をはっきりさせる必要がある。総会では青木参議院議員会長が、「参院平成研としては、衆議院側で一致協力して、総裁候補として推す人があれば、その方を応援する覚悟であった。しかし、衆議院側で意見が一致する候補がないということなので、参院平成研としては、今回の総裁選挙は自主投票という形で望みたい。各々議員の方は、自分の信ずる方向で選挙に望んでいただきたい。但し、各総裁候補の推薦人に名前を連ねることはやめてもらいたい」と述べた。従って平成研所属の参議院議員は、いわゆる派閥に拘束されず自由な立場で今回の総裁選挙に臨むことになる。

自民党政経文化懇談会のお知らせ

恒例となりました自民党の政経文化懇談会が開催されます。皆様方にお誘いするのは誠に心苦しく存じますが、なにとぞ協力下さいますようお願い申し上げます。

- ◆日時 平成18年11月23日(木祝) 13時(予定)
- ◆場所 国立京都国際会館(左京区宝ヶ池)
- ◆会費 1口 三万円

☆お申込は一人湯とし事務所まで

西田昌司氏、参院候補に決定 自民京都府連常任選対で投票



西田昌司氏の記者会見に立ち合う二ノ湯議員

来年夏の参議院選挙に出馬せず、引退を表明した西田吉宏参議院議員の後継者を決める自民党京都府連の選挙対策常任委員会は、

8月28日に開かれ、投票の結果、西田吉宏氏の長男で府会議員西田昌司氏を党公認候補として党本部に申請、9月5日党本部は公認候補者として決定した。開票結果は公表されていないので、票差はわからないがかなりの接戦であったことはたしかだ。今回、候補者の選考に当たって、党本部から広く全国から人材を求めするために公募制にしてはと伊吹府連会長に打診があったようであるが、「地元にも優秀な人がたくさんいる」と伊吹会長は公募制の導入を拒否した。しかし、地元で候補者を選考するとしても、府下各市町村会議員まで、公募の範囲を広げると前々回のように多くの希望者が名乗りを上げ、収拾がつかなくなるので、京都府会議員、京都市会議員に限定して希望者を募ることになった。その結果京都市

会からは希望者がなく、京都府会から、田坂幾太郎府会議長、西田昌司府会議員団代表幹事の二氏が立候補の意思を明らかにした。双方とも高い見識、豊かな経験もあり、甲乙つけ難い人材であるが、京都選挙区の現状を考えると、二名を公認することは不可能である。話し合いで一人に絞り込むことは密室で決めたという批判も起こるので、正々堂々と投票で決めるべきだという意見が大勢となった。選対委員も、どちらに投票するか、大いに悩んだようである。



西田昌司氏

経歴 (昭和三十三年生、滋賀大学経済学部

卒、税理士、平成二年より府議会議員五期 著書「政論I・II」)

二ノ湯議員、京都工芸染匠協同組合研修会で講演

9月4日、京都工芸染匠協同組合(理事長・木村信一)の会員・従業員・取引先約70人を対象にした研修会に、二ノ湯議員は講師として招かれ、講演をおこなった。

一時間を超える講演の中で、二ノ湯議員は、構造改革の推進の中で、勝ち組・負け組という言葉に代表されるように、東京と地方や企業間・個人間における格差が広がりつつあると指摘した上でその弊害の是正の必要性を強調した。連日マスコミで取り上げられている自民党総裁選については、三名の候補者の政策やその人柄、その舞台上で繰り広げられている裏話について、笑いも交えながら講演した。

また、京都市職員の不祥事問題については、市会議員時代の経験を踏まえ、その問

題の本質を厳しく指摘し、今こそ、問題の根絶のため一丸となって取り組む絶好の機会であり、そのためには、役所と議員だけでなく、市民も今までのように無関心では決していけないと述べた。

また、小泉政権の5年間で関係が冷え込んでいる中国・韓国・北朝鮮の東アジア諸国との問題については、それぞれの国が現在抱えている問題・課題を明らかにしながら、関係改善のためにも、日本として明確な意思表示と揺るぎない外交姿勢を各国に示すことが大切であると主張した。

講演後行われた質疑応答では、全国各地で問題となっている公務員の不正や優遇問題、税金の無駄使いなど公務員制度の改革について厳しい意見が出された。また、組合からは、今後の後継者育成のためにも、京友禅の企画・生産・製造工程において総合プロデューサー的役割を担う「染匠」の職業的地位の確立と向上への協力を依頼され、研修会は盛會裡に終えた。

私の決意「日本の背骨を取り戻せ」

西田昌司

憲法や教育基本法の改正、靖国参拝の是非など、今日問題となっている事柄の殆どの原因は、戦後の占領政策にあります。この時代に、民主化と言う名の下、日本人は伝統的歴史観や価値観を奪われてしまいました。問題は、占領時代が終わった後も、このことに政治家が誰も手をつけずに来てしまったことです。正に、日本人は背骨を失ったまま戦後六十一年を過ごしてしまっただけです。

今こそ、日本人がこうした歴史の経緯を知り、日本人としての心と歴史観を取り戻すことが必要です。歴史を素直に振り返り、良い点も悪い点も含め、問い直すことが必要なのです。それが、戦争を知らない我々の世代の使命です。

二之湯先生とご一緒に、全力で頑張りますので宜しくお願いを申し上げます。



二ノ湯真士事務所完成 本格稼働は10月中旬



来春4月8日に実施される予定の統一地方選挙で、右京区より府会議員を目指して準備中の二ノ湯智参議院議員秘書二ノ湯真士君の活動の本拠地となる事務所がこのほど太秦の

中心地である太秦大映通り商店街(もり漬物本店西へ100m)に完成した。事務所の本格的な稼働は10月に入ってからであるが、従来から右京区の中で有権者の最も多い大栗田の太秦に自民党の足場がなかった。それだけに、自民党支援の人々からは、活動の拠点を設けてほしいという要望が強かったが、なかなか実現までには至らなかった。今回二ノ湯真士君の事務所が出来たことにより、党勢拡張に大きな役割を果たすと期待されている。



身辺雑記

一、公務員も人の子だと言ってしまうればそれまでだが、あちこちで公務員の犯罪が多い。地元京都市を筆頭に、大阪拘置所の看守のワイロ、社会保険庁職員の国民年金保険料不正免除、そして九州では酔っぱらい運転で家族一家もろとも海に突き落とした福岡市職員。本当に世の中狂っていると言いたい。

一、16歳の子供が親の殺人を15歳の友達に依頼するとはいったいどういうことか。あどけなさが残る子供がどうして母親を殺さなければならぬのか。全く理解に苦しむ。

一、早稲田実業と駒大苫小牧との決勝戦は高校野球の良さを見せてくれた。双方のエースの投手戦は随分と見ごたえがあった。世の中いやなことが多いから、高校野球が一層さわやかに感じられる。

一、八月の盆過ぎから、長年の持病治療のため市立病院に10日間入院した。狭いベッドで、なかなか寝つかれず困ったが、病室は完全に治ったと医師の宣告をいただき安心。

一、医療現場は医師が中心であることは当然であるが、医師だけでは大病院の運営はできない。多くの優秀な医師を支える補助要員が必要である。中でも変則的な勤務にもかかわらず、患者に優しく接してくれる看護師の存在は欠かせない。わずかな入院期間であったが、市立病院に対して悪い印象

象は一つも持たなかった。

一、6年ぶりの小学校同窓会が、三重県で開かれた。懐かしい顔ぶれが揃っていたが、名前がなかなか思い出せない。全員気は若い62歳ともなると、孫、健康、年金の話題が中心。そんな年になってしまったのかと感慨ひとしおである。

一、秋篠宮妃紀子さまが男児を出産された。懐妊された時から、男の子ではないかと噂されたが、実際男児誕生で多くの国民が喜んでいる。これでここ一年間ほど論争を巻き起こした皇室典範改正問題もひとまず終息に向うのかも知れない。

「新政経懇話会」入会のご案内

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所
☎075-315-2228

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名: みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyatoshi.com>

第163回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時: 9月24日(日) (小雨決行)
- ・出発時刻: 午前9時(時間厳守)
- ・集合場所: JR堅田駅(湖西線)
参考: JR京都駅8:26発→堅田駅8:51着
- ・コース: JR堅田駅→道の駅米プラザ→琵琶湖大橋折り返し→堅田内湖→出島灯台→堅田旧街道の町並み→湖畔の郷→近江八景浮御堂→本福寺→祥瑞寺→芭蕉句碑めぐり→JR堅田駅(解散)
- ・今回は久しぶりに琵琶湖畔を訪ねます。山から眼下に広がる琵琶湖のパノラマは眺望絶景で湖中に浮かぶ優雅な浮御堂を眺め、豊かな自然を楽しみながら堅田旧道のそぞろ歩き。多くのご参加をお待ちしております。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758
(当日)090-1956-7460

歩くことは
健康の基本

第162回 みんなで歩こう湯歩会 (参加者53名)



洛西・大蛇池公園にて